

第8回悠久会神奈川支部ハイキングの報告

神奈川支部ハイキング担当 藤原英次

日時：平成22年 11月 27日（土）

コース：小田急箱根湯本駅集合 ～ 箱根登山バス乗車箱根町行き ～ 箱根関所 ～

杉並木 ～ 旧箱根街道（石畳） ～ 湯本温泉入浴 ～ 箱根湯本→小田原駅解散

参加者：5名

池田邦彦（電33）、村本進（電42）、坂上正裕（子45）、

相馬友一（子院46）、藤原英次（子53）

11/27（土）に晴天に恵まれた晩秋の箱根に、江戸時代の名残に思いを馳せながらハイキングを楽しみました。

9時15分小田急箱根湯本駅に集合し、9:25発箱根登山バス箱根町行きにて出発。正月の箱根駅伝で見慣れた道路を駆け上ります。約50分の乗車で箱根関所跡に到着、ここからハイキング開始です。箱根関所は江戸幕府により元和5年（1619年）に設置され、旧東海道の江戸の西側の重要な関所として「入り鉄砲に出女」を厳しく取り締まっていたと言われています。

関所から車道を渡って直ぐに杉並木に入ります。この杉並木も関所開設の頃に旅人に日陰を与えるために植えたもので、樹齢400年の巨木は圧巻でした。並木道は地元ボランティアの人たちがゴミ拾いをしており、観光資源の保護に感心しました。

杉並木をぬけて国道を少し歩き、元箱根から旧街道に入ります。この旧街道の石畳は延宝8年（1680年）に幕府が敷設し、文久2年（1862年）に皇女和宮降嫁に合わせて改修したものが現在残っています。旅人を難渋させたぬかるみ道の舗装化にあたりますが、表面が平らではない30cm四方ほどの石の上を歩くのは現代人にはなかなか難儀でした。石畳道にいろいろな工夫を施した排水技術の説明看板があり、技術屋の私たちには興味深かったです。

石畳を下ってお昼頃に甘酒茶屋に到着し、昼食をとり、さらに旧街道を進み、車道に出たところから路線バスに乗り、箱根湯本に戻り、駅のすぐ上の温泉で入浴しました。露店風呂でしたが、上空に波板トタンがかけてあり、吹く風でどんぐりがにぎやかな音を出してトタンに落ち、秋の深まりを感じました。湯上りにビールでお疲れ様、乾杯。4時頃に箱根湯本駅でお土産を買い、小田原駅で解散しました。

次回は初夏にミシュラン三ツ星の高尾山を予定します。



箱根関所見学

箱根旧街道石畳
(歩くのはなかなか難儀)



箱根湯本温泉宿前
(湯上りの一杯を楽しんでいたら日が傾く)



樹齢400年の杉並木



旧街道の有名な案内看板
(やっと降りてきた)

